

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ワンハート		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 14日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化しないよう工夫している。	季節感を味わうことや流行を取り入れることで、「楽しい」気持ちを育んだり、チャレンジする機会を提供したりしている。また、各活動担当を中心にチームで立案を行っている。	活動の前には活動プログラムの目標や支援の内容、役割分担について確認し、連携した支援を行う。また社内外の研修や勉強会に参加して、専門知識を高めていく。
2	こどもの状況を保護者様と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	ご利用時の様子は保護者向けアプリやSNSを通じて保護者様にその日のうちにお伝えしている。定期的な面談を実施し、ご家庭での様子や、学校での様子、事業所での様子等を話し合い、うまくいっていることや課題等の話し合いをしながらご家族様と共通認識の元、支援計画を作成し、支援にあたっている。また必要に応じて関係機関と連携し、個々の病状や医療的ケア、発達に関する情報共有を行っている。	多方面からの相談にお応えできるように研修に参加し、専門的な知識を深め、保護者様にアドバイスできるようにしていく。また外部機関との連携をさらに深め、専門的な意見交換ができるようにする。
3	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している。	定期的な面談を行い、アセスメントを適切に行っている。子どものニーズや課題を子どもや保護者と一緒に確認している。また、日々の様子や振り返りの記録を取り、計画作成前には、スタッフでミーティングや支援会議を行っている。	個々のニーズについてスタッフがさらに深めていけるよう日々の様子やアセスメントから分析する機会を支援会議にて行う。また専門的な知識を深めていく事ができるよう外内部の研修に参加していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会ができていない。	安全に医療的ケアができる環境の確保の為、周囲の子どもへの事情説明や感染症への対策も考慮が必要となり、活動する機会の提供が積極的に行うことができていない。	日頃から事業所の取り組みを地域に広め、地域交流の機会を検討し、事業所の理解を深めていただけるようにする。
2	父母の会の活動や、保護者会等の開催が行われていない。	働いている保護者様も多く、時間をとることが難しい等の意見もあったため開催を見送っていた。	直接保護者会の開催が難しくても先輩保護者の意見を聞く機会を設けたり、個々の保護者様がつながれる役割をデイが担っていく。保護者様や、ご兄弟が参加できるイベントを土曜日や祝日等参加のしやすい曜日に設定をする。
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない。	困りごと等あれば、個別に対応はしているが、ペアレントトレーニングは実施できていない。	保護者が参加できる研修会や情報共有を行っていく。